

# わたしをかえる ちから

定刻祈りに成功したらチェックしよう

イザヤ 6:8~13 そこにはなお、十分の一が残るが、それもまた、焼き払われる。テレビの木や樫の木が切り倒されるときのように。しかし、その中に切り株がある。聖なるすえこそ、その切り株。(13) 2010.08.03 (WRC 1 講)

聖書の核心の聖句をさがして

書いて、暗唱してみよう。

霊的な力がわき出きますよ



福音が刻印されるようにさとらせてくださって、神様の子どもの身分と權威を本当に味わうようにさとらせてくださって感謝します。みことばと祈りで心がいやされるレムナントの規律をととのえて、私を変えろ力をください。私を導かれるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

友だちの小さなまちがいは大きく見えても、私の大きいまちがいはとても小さく見えるのではありませんか。しかも、なおそうという努力もしないでしょう。だれも見えていないとき、もしかしてゲームやテレビの海におぼれてまよっていませんか。悪い習慣を捨てたくても、消えないから本当に苦しいだけでしょ。どんな考えでも、結局、行動で現われるのですが、これを「刻印」されたと言います。それで、まことの福音が心と考えに刻印されてこそ、いろいろな悪い習慣を変えることができるのです。

もしかして、神様の子どもである私の中に、福音よりもっと深く刻印されたことがありますか。神様がくださった力で私を変える「祈りの力」を受ければ、いつも勝利します。もうこれ以上、サタンのだましごとになだまされしないでください。祈りの規律を整えて、荒れはててしまった心をいやしながら私を変えろ力を得ましょう。

年をとっていくほど、祈りを多くしなさい。そうすれば、霊的なことが冷え冷えとすることは無い—ジョージ・ミュラー

祈りとは、キリストの力をにぎる手だ

( )	( )	( )
		合計点
( )	( )	( )

# 02

## 神様の光

定刻祈りに成功したらチェックしよう

Sat

土曜日

おはなし黙想 1

「コトネはね、コトネはね、指が短くてピアノもまちがえる」  
「コトネはね、コトネはね、足が短くて、ピアノのペダルも踏む  
ことができないよ」

6歳の時からピアノをならっているコトネは、もうならってから  
5年にもなります。しかし、同じ年の友だちより小さいので、友だ  
ちにいつもからかわれます。

また、からだが小さいので、練習をたくさんするのに、なかなか  
うまくなることができません。しかし、コトネは涙をがまんして  
がんばってピアノをひいています。

ある日、ピアノの先生が、コトネをからかっていた子どもたちに  
どなりつけました。

「こら、おまえたち！ どうして友だちをからかうのか。もう一度か  
らかったら、とても痛い目にあわせるよ！」

ピアノの先生は、子どもたちに向かって虎のように叫んで、コトネ  
に近づいてきました。

「コトネ！ だいじょうぶかい」

「先生！ 今も神様が私とともにおられるって本当なの？ そして、神  
様は私がかからかわれていることも、すべてごぞんじでしょう。神  
様はどうして私を悲しくさせられるの？」コトネは、先生に心か  
らお話をしました。

コトネを見守っていた先生は、コトネを抱きしめて  
言いました。

「神様はコトネの人生を通じて神様の栄光を現わそうとされているのだよ。あな  
たが神様の子どもという事実は永遠に変わりがないよ。神様の子どもには、なに  
も問題にならない。いっしょに他の人が害することができない力をくださいと祈  
ってみよう」

戦場に行くときは、一度祈りなさい。海に出て行くときは、二度祈りなさい。そして、結婚するときは、  
三度祈りなさい。—ロシアの格言

祈りは天国の発電所のスイッチを押すことだ

